

平成 29 年度
(2017年度)

宇都宮大学大学院
農学研究科修士課程

第3次学生募集要項

(一般選抜)
(社会人特別選抜)

宇都宮大学

「豊かな発想を地域に、新たな知を世界へ 宇都宮大学」

宇都宮大学では、地震、風水害等の災害により被害を受けた受験者の皆さんに対し、入学検定料を免除する制度があります。詳細は、8ページをご覧ください。

また、入学時にも、入学料や授業料の免除・徴収猶予などについて、できるだけ配慮を致します。困難な状況が続いていると思いますが、是非とも夢を失わず、真っ直ぐに前を見ながら歩んでください。応援しています。

★ 主要日程

	一般選抜	社会人特別選抜
出願受付期間	平成29年2月10日(金)から2月14日(火)まで 9時から16時まで(ただし、土曜・日曜・祝日は除く)	
筆記試験	平成29年3月8日(水) 日本語： 9時30分から11時50分まで (日本語受験者のみ) 専門科目： 13時から16時まで (農業環境工学専攻のみ14時30分まで)	
小論文		平成29年3月8日(水) 9時30分から11時まで
面接	平成29年3月8日(水) 16時30分から (農業環境工学専攻のみ15時から)	平成29年3月8日(水) 13時30分から15時まで
合格者発表	平成29年3月14日(火)13時	

入学試験過去問題の開示について

農学研究科では、過去5年間の入学試験問題を開示しています。

開示場所 入試課(窓口での閲覧)

開示時間 9時～17時

土曜・日曜・祝日は除く

個人情報の取扱いについて

本学では、出願に際し提出いただいた氏名、生年月日、性別、住所、成績その他及び入学試験に関する成績の個人情報は、次の範囲内で利用するとともに適正な管理に努めます。

- ① 入学者選抜、入学手続など入学までの一連の業務
- ② 入学後の修学関係(学生証交付、履修指導、名簿作成等)及び学生生活関連(奨学金、授業料免除等)の業務
- ③ その他、本学の教育・研究、学生支援に必要な業務及び統計・分析のための資料作成等

お問い合わせ先

〒321-8505 宇都宮市峰町350
宇都宮大学学務部入試課
電話 028-649-5405

農学部ホームページ

ホームページアドレス
<http://agri.mine.utsunomiya-u.ac.jp/>

目 次

農学研究科アドミッション・ポリシー	1
一般選抜・社会人特別選抜募集要項	4
長期履修学生制度	14
疾病・負傷や身体障害等による受験上及び修学上の特別措置に関する事前相談	15
注意事項	15
平成28年度農学研究科入学状況	16
[附記] 東京農工大学大学院連合農学研究科（博士課程）	16
教員の教育研究分野	17
試験場案内図	20

(添付書類等)

- ① 入学志願票
- ② 写真票・受験票
- ③ 入学希望理由書（社会人特別選抜出願者用）
- ④ 研究計画書（社会人特別選抜出願者用）
- ⑤ 日本語受験承諾書
- ⑥ 銀行振込用紙（入学検定料振込用）
- ⑦ 入学検定料振込受付証明書貼付台紙
- ⑧ 入学検定料免除申請書
- ⑨ 宛名シール・志願票受付用シール
- ⑩ 受験票返信用封筒
- ⑪ 出願用封筒

【農学研究科アドミッション・ポリシー】

〔生物生産科学専攻〕

植物生産学講座

1. 求める学生像

- (1) 農業やバイオサイエンスに関する高度な知識や技術を修得して、地域社会や国際社会に貢献しようとする夢と情熱を持つ人
- (2) 地球・生命環境の仕組みを本質的に理解した上で、生物資源を最大限に保全・活用して、農業生産物を安定に供給するための課題を解決する使命感を持つ人
- (3) 主体性があり、常に問題意識を持ち、解決に向けて自ら考え、行動を起こす意欲と能力を備えている人
- (4) 本専攻で学んでいくための基礎となる学力を有する人

2. 入学者選抜の基本方針

- (1) 専攻を希望する教育研究分野の専門科目について、基本的な学力と熱意を備えているかどうかを重視します。
- (2) 外国語および志望する専門教育分野以外の専門科目について、基本的な学力を備えているかどうかを評価の対象とします。
- (3) 面接試験では、主体的な姿勢、思考力、表現力、コミュニケーション能力なども考慮して評価します。

動物生産学講座

1. 求める学生像

- (1) 農業やバイオサイエンスに関する高度な知識や技術を修得して、地域社会や国際社会に貢献しようとする夢と情熱を持つ人
- (2) 動物生産学講座で学んでいくための基礎となる知識や技術を修得している人
- (3) 主体性があり、常に問題意識を持ち、解決に向けて自ら考え、行動を起こす意欲と能力を備えている人
- (4) 将来、動物生命科学やバイオサイエンスに関連する分野に従事し、この分野の指導的立場をめざす人

2. 入学者選抜の基本方針

- (1) 大学の生物や生命科学に関する教育課程を修了し、動物生産に関する基本的な学力を備えているかどうかを重視します。
- (2) 入学試験では動物学およびその関連分野に対する熱意と能力も評価の対象とします。
- (3) 社会人特別選抜では、主体的な姿勢、思考力、表現力、コミュニケーション能力なども考慮して評価します。

応用生物学講座

1. 求める学生像

- (1) 農業やバイオサイエンスに関する高度な知識や技術を修得して、地域社会や国際社会に貢献しようとする夢と情熱を持つ人
- (2) 自ら思考して行動する為に必要な基礎学力，専門知識，基礎英語力，判断力を有する人
- (3) 応用生物学に興味を持ち，農学に関する重要問題の解決や人間生活の発展に寄与するための高い志を有する人
- (4) 生命現象の本質の理解，最先端技術や知識の習得に高い意欲のある人

2. 入学者選抜の基本方針

- (1) 一般的な英語力，及び専門分野の英語力を備えているかどうかを重視します。
- (2) 専門分野の基礎的な知識を備えているかどうかを重視します。
- (3) 専門分野の知識や技術の修得に対する意欲，主体的な姿勢，表現力，コミュニケーション能力も評価の対象とします。

応用生物化学講座

1. 求める学生像

- (1) 生命科学に関する高度な知識や技術を修得して，地域社会や国際社会に貢献しようとする夢と情熱を持つ人
- (2) 生命，食品，環境に関する高度な知識と技術を身につけて食品，医薬品，化粧品などの化学系産業等における技術の発展や国あるいは地方公共機関において貢献することを志している人

2. 入学者選抜の基本方針

- (1) 専門分野や英語に関する基本的な学力を備えているかどうかを重視します。
- (2) 面接においては，本講座で学ぶための資質や勉学意欲を評価します。

〔農業環境工学専攻〕

1. 求める学生像

- (1) 工学的な素養を基礎として，環境と調和した農業システムや田園空間の創出に関わる高度な専門知識の修得，課題の設定及び解決能力の向上に意欲がある人

2. 入学者選抜の基本方針

- (1) 志望する教育研究分野に関する基礎的知識と論理的思考力，ならびに外国語に関する基礎的運用能力を考査します。
- (2) 農業・環境に関わる課題への関心や学修意欲などを評価します。

[農業経済学専攻]

1. 求める学生像

- (1) 社会科学の研究を行う基礎的な科目を修得している人
- (2) 高度な論理的思考能力を有し、食料・農業の社会経済問題や農村地域の生活に関心がある人
- (3) 現実社会の中から学ぶ意欲とコミュニケーション能力がある人

2. 入学者選抜の基本方針

- (1) 大学卒業の要件をふまえて、研究を履行できる基本的な学力と思考力を備えているかを判断するとともに、論理的な思考力、社会への関心、学修・研究意欲なども考慮して評価します。

[森林科学専攻]

1. 求める学生像

- (1) 森林・林業・林産業の分野で高度な知識と研究能力を身につけ、将来は専門職業人・研究者として積極的に社会に貢献できる人

2. 入学者選抜の基本方針

- (1) 基礎的な語学力と森林科学に関する専門的な学力と思考力を備えているかどうかを評価します。面接では、森林・林業分野への熱意、論理的思考力、表現力、コミュニケーション能力なども考慮して評価します。

【一般選抜・社会人特別選抜募集要項】

1. 専攻及び募集人員

専攻名	修士講座等	募集人員	
		一般選抜	社会人特別選抜
生物生産科学専攻	植 物 生 産 学	若干名	若干名
	動 物 生 産 学		
	応 用 生 物 学		
	応 用 生 物 化 学		
	資源循環・土地利用型畜産学(分野)	1名	
農業環境工学専攻	農業環境システム工学	約2名	若干名
農業経済学専攻	農業経営経済学	約7名	若干名
森林科学専攻	森林生産保全学	約3名	若干名

平成28年度の入学状況は16ページのとおりです。

- ①「社会人特別選抜」で社会人とは、平成29年3月31日現在において、大学卒業後、3年以上の社会経験を有する者又は義務教育修了後、10年以上の社会経験を有する者をいいます。
- ②「社会人特別選抜」で出願しようとする者は、事前に入試課へ照会し、入学後の研究計画等について、指導を受けようとする教員に問い合わせてください。
- ③「社会人特別選抜」で出願しようとする者のうち、教育方法の特例措置を希望する者は、14ページを参照してください。

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者及び平成29年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成29年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者 **注1)**
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (8) 大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外

国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、農学研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めたもの **注2)**

(9) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により他の大学の大学院に入学した者で、農学研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの **注2)**

(10) 農学研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で平成 29 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者 **注2)**

注1) 出願資格(6)で出願しようとする者は、平成 29 年 2 月 7 日(火)までに必ず入試課へ問い合わせてください。

注2) 出願資格(8), (9)及び(10)で出願しようとする者は、必ず入試課へ早急に問い合わせ、平成 29 年 2 月 7 日(火)までに出願資格個別審査申請の手続きをしてください。

3. 出願手続

入学志願者は、(2)に示す出願書類等を取りまとめ、本学所定の「出願用封筒」に入れて、(4)の提出先へ持参又は郵送してください。

(1) 出願受付期間

平成 29 年 2 月 10 日(金)から 2 月 14 日(火)まで (ただし、土曜・日曜・祝日は除く)

受付時間は 9 時から 16 時までとし、郵送の場合も 2 月 14 日(火)16 時までに必着のこと。

なお、出願期間（日時）終了後に到着したものは、受理しないので注意してください。

(2) 出願書類及び概要等

① 出願書類等について

- ・ 入学検定料は、出願書類を受理した後には、いかなる理由があっても返還しません。
- ・ 受理した書類等は、TOEIC の公式認定証「Official Score Certificate」及びスコアレポート「個人成績表」の原本を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- ・ 出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。なお、現住所、連絡場所又は電話番号に変更が生じた場合は、速やかに入試課へその旨連絡してください。
- ・ 提出した書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消すことがあります。

② TOEIC スコアの提出について

- ・ 入学試験実施日から過去 4 年以内に実施された TOEIC Listening & Reading Test による公式認定証「Official Score Certificate」の原本、若しくは各種団体が主催する TOEIC IP（カレッジ TOEIC を含む）によるスコアレポート「個人成績表」の原本が出願書類として有効です。

なお、平成 28 年 8 月に TOEIC テストが TOEIC Listening & Reading Test へ名称変更しましたが、名称変更前に実施した TOEIC テスト(Listening と Reading の 2 技能を測定)も、上記期間内のものであれば出願書類として有効です。

TOEIC S&W テスト及び TOEIC Bridge のスコアは、受け付けません。

- ・ 提出のあった公式認定証「Official Score Certificate」及びスコアレポート「個人成績表」の原本は、出願受付後、受験票と共に返却します。返却の際に、書類を折りたたむことがあります。
- ・ 複数回受験している、若しくはTOEFLも受験している場合でも、いずれか1つのスコアを提出してください。

③ TOEFL スコアの提出について

- ・ 入学試験実施日から過去2年以内に実施された TOEFL テストによる公式スコアレポート「Official Score Report」の原本が出願書類として有効です。
なお、TOEFL iBT, 若しくはTOEFL PBTを対象とします。
- ・ 公式スコアレポート「Official Score Report」が、TOEFL 試験運営機関である米国 ETS から本学へ出願受付期間の最終日までに届くよう、受験者本人から米国 ETS に発行を申請してください。申請から本学到着まで約2ヶ月程度を要するので早めに申請する必要があります。
宇都宮大学の団体コードは 7976 です。
- ・ 出願受付期間の最終日までに米国 ETS 発行の公式認定証「Official Score Report」が本学に未着の場合は、出願を受け付けません。
- ・ 出願時確認用として、受験者用控えスコア「Test Taker Score Report」のコピー若しくは「Examinee Score Report」のコピーを本学あて出願書類に同封してください。
- ・ いずれの書類も受験者あてに返却しません。
- ・ 複数回受験している、若しくはTOEICも受験している場合でも、いずれか1つのスコアを提出してください。

※ 提出該当者は、○で表示しています。

出願書類	提出該当者		摘要
	一般選抜	社会人 特別選抜	
入学志願票	○	○	所定の事項を記入してください。
写真票・受験票	○	○	写真は、出願前3か月以内に撮影した脱帽・正面・上半身(4cm×3cm)の2枚同じものを用意し、「写真票」及び「受験票」にそれぞれ貼ってください。
卒業証明書 (卒業見込証明書)	○	○	最終学校の学長(学部長)又は学校長が作成したもの。 ・言語によっては訳文の提出を求める場合があります。
成績証明書	○	○	最終学校の学長(学部長)又は学校長が作成し、厳封したもの。 ・本学を卒業見込みの者は厳封する必要はありません。 ・言語によっては訳文の提出を求める場合があります。
TOEIC,TOEFLに関する書類	○ (※1)		次の①若しくは②のいずれかを提出・申請してください。 <u>TOEICの場合</u> ① 入学試験実施日から過去4年以内に実施されたTOEIC Listening & Reading Testの公式認定証「Official Score Certificate」の原本、若しくは各種団体が主催するTOEIC IP (カレッジTOEICを含む)のスコアレポート「個人成績表」の原本を提出してください。 <u>TOEFLの場合</u> ② 入学試験実施日から過去2年以内に実施されたTOEFLテストの公式スコアレポート「Official Score Report」が出願受付期間最終日までに本学に届くよう、受験者から米国ETSへ申請してください。 併せて、出願書類には受験者用控えスコア「Test Taker (若しくはExaminee) Score Report」のコピーを同封してください。5ページの3(2)「TOEFLスコアの提出について」をよく読んでください。 (※1)外国語科目を日本語(一般・専門)で受験することを事前に承諾された者は、①及び②の提出は必要ありません。
住民票	日本国に在住 している外国人のみ		現に日本国に在住している外国人は、市区町村長から交付された在留資格及び在留期間の記載があり、マイナンバーの記載がないもの。 ・本学の在学者(科目等履修生及び研究生を含む)は、提出する必要はありません。
国費外国人留学生 証明書	国費外国人 留学生のみ		出願時に国費外国人留学生である者は、在学している大学発行の証明書又は身分を確認できる書類等を提出してください。
入学検定料 (国費外国人留学生 は、注を参照)	○	○	30,000円 。本学所定の銀行振込用紙を用い、本学の取引銀行(足利銀行・栃木銀行・みずほ銀行)のいずれかの口座に振込んでください。ただし、ATMは使用しないでください。なお、その際振込銀行から発行される「振込受付証明書」を受取り、「入学検定料振込受付証明書貼付台紙」の所定の欄に貼付してください。 また、地震、風水害等による被災の関係で入学検定料免除を申請する者は、8ページ「(3)入学検定料免除について」を参照し、入学検定料免除申請書(別添書類)を提出してください。その場合は、入学検定料は納付せずに、氏名とふりがなのみ記入し、「免除申請」を○で囲んだ「振込受付証明書貼付台紙」を提出してください。
学位授与証明書	出願資格(2)に 該当する者		大学評価・学位授与機構が作成したもの。
入学希望理由書		○	大学院で勉強・研究を行いたいと考えた動機及び目的を記載したもの。

出願書類	提出該当者		摘要
	一般選抜	社会人特別選抜	
研究計画書		○	大学院で研究しようとするテーマ及び内容を記載したもの。 ・学術雑誌への公表論文、各種機関や企業等の報告書及び学会発表要旨等を添付することができます。
日本語受験承諾書	○ (※2)		太線で囲まれた部分を記入してください。 ・外国語科目「日本語」の受験を希望する者は、事前に入試課に相談してください。 (※2)9ページの一般選抜「外国語」の摘要欄の「ただし書き1～5に該当する者」
受験票返信用封筒	○	○	本学所定の封筒に、住所、氏名を明記の上、郵便切手(速達郵送料362円)を貼ったもの。
宛名シール・志願票受付用シール	○	○	住所・氏名等明記の上提出してください。

(注) 国費外国人留学生奨学金支給期間延長の申請を予定している者は、所定の届け出により入学検定料を免除するので、出願前に必ず入試課へ問い合わせてください。

(3) 入学検定料免除について

本学では、災害等で被災された方の経済的負担を軽減し、受験者の進学機会の確保を図るために、入学検定料免除の特別措置を下記のとおり行います。

① 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは、東日本大震災及び平成23年3月以降に災害救助法(昭和22年法律第118号)が適用された地域における地震、風水害等の災害(以下「災害」という。)により、次に該当する者です。

ア 主たる家計支持者(父母又はこれに代わって家計を支える者のうち、所得金額の最も多い者。以下「家計支持者」という。)が、災害救助法が適用された地域に居住している場合又は居住していた場合で、次のいずれかに該当する者

㊦ 家計支持者の居住する家屋について、市町村から次のいずれかに係る証明書を交付される者

- (ア) 全壊
- (イ) 大規模半壊
- (ウ) 半壊

㊧ 家計支持者が、原子力災害対策特別措置法(平成11年法律第156号)に基づき定められた次のいずれかの区域に居住している者又は居住していた者

- (ア) 警戒区域
- (イ) 計画的避難区域
- (ウ) 緊急時避難準備区域

イ 家計支持者が、災害により死亡又は行方不明となった者

② 免除申請の手続

入学検定料の免除を受けようとする者は、出願時に、入学検定料免除申請書(別添書類)に、次のいずれかの証明書(写し可)を添えて、申請してください。

ア ①ア⑦並びに④に該当する者

罹災証明書, 被災証明書等

イ ①イに該当する者

⑦ 家計支持者が死亡した場合

家計支持者の死亡が確認できる書類

④ 家計支持者が行方不明となった場合

家計支持者の行方不明の事実が確認できる書類又は行方不明となったことに係る申立て(入学検定料免除申請書に記載してください。)

なお, 提出書類について不明な点がある場合は, あらかじめ入試課まで問い合わせてください。

また, 免除申請の要件を満たしていなかった場合は, 入学検定料の納付について入試課から電話にて連絡します。

(4) 提出先

〒321-8505 宇都宮市峰町 350 宇都宮大学入試課

(5) 受験票の送付

出願受付期間終了後に受験票を送付しますので, 平成 29 年 2 月 28 日(火)までに到着しない場合は, 入試課にその旨を申し出てください。

4. 入学者選抜方法

(1) 選抜種別

一般選抜	学力検査(筆記試験, TOEIC 若しくは TOEFL スコア), 面接の結果及び最終学校の成績証明書を総合して行います。 ・国費外国人留学生(研究留学生), 外国政府派遣留学生及び J I C A 留学生(※)は, 学力検査(筆記試験, TOEIC 若しくは TOEFL スコア)を免除します。
社会人特別選抜	小論文, 面接の結果及び最終学校の成績証明書を総合して行います。

(※) J I C A 留学生が出願する場合は, 早急に入試課へ問い合わせてください。

(2) 受験科目等

【一般選抜】

受験科目等	摘要
外国語	TOEIC 若しくは TOEFL のスコアによる英語の評価を行います。 ただし, 次のいずれかに該当する者は, 筆記試験による「日本語」(一般・専門)での受験を認める場合がありますので, 2 月 7 日(火)までに入試課へ連絡の上, 希望する専攻長に相談し, 出願時に所定の日本語受験承諾書を提出してください。 1. 出願資格(3)により出願する者 2. 出願資格(4), (5)により出願する者及び出願資格(8)により出願する者で, 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者又は我が国において, 外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。)を有す

		<p>るものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、農学研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者</p> <p>3. 出願資格(8)により出願する者で、外国において学校教育における15年の課程を修了し、農学研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者</p> <p>4. 出願資格(10)により出願する者で、外国において学校教育における課程を修了し、農学研究科において日本語(一般・専門)の選択を認められた者</p> <p>5. 農業経済学専攻及び森林科学専攻については、外国人留学生として日本の4年制大学を卒業した者及び平成29年3月卒業見込みの者として志願する者</p>
専門科目 (生物生産科学専攻 農業経済学専攻 森林科学専攻)	専門必修科目	次ページの志望する 教育研究分野 の専門科目1科目とします。
	専門選択科目	<p>出願する教育研究分野以外の専門科目1科目とし、次ページの専門選択科目の受験方法によるものとします。</p> <p>ただし、森林科学専攻にあつては、「出願する教育研究分野が含まれる教育研究分野系以外の系の中の専門科目1科目」とします。</p>
専門科目 (農業環境工学専攻)		次ページの志望する 教育研究分野 の専門科目1科目とします。
面接		出願専攻別に行います。

【社会人特別選抜】

受験科目等	摘要
小論文	出願専攻別に行います。
面接	

(3) 科目一覧《一般選抜受験者のみ》

専攻名	修士講座等	教育研究分野	専門科目	専門選択科目 の受験方法	
生物 生産 科学 専攻	植物生産学	作物栽培学	作物学	本専攻内の全 ての専門科目 のうち、出願 する教育研究 分野の専門科 目以外を選択 してください。	
		園芸学	園芸学		
		比較農学	植物土壌微生物学		
		土壌学	土壌学		
		植物栄養・肥料学	植物栄養・肥料学		
		植物分子生理学	植物分子生理学		
		地質学	地質学		
		園芸生産技術学	園芸生産技術学		
		作物生産技術学	作物生産技術学		
		植生マネジメント学	植物生態学		
	動物生産学	動物機能形態学	動物機能形態学		動物生理学
			動物形態学		動物形態学
			野生動物管理学		野生動物管理学
			動物繁殖学		動物繁殖学
			動物育種学		動物育種学
	応用生物学	植物育種学	植物育種学		植物育種学
			植物病理学		植物病理学
			応用昆虫学		応用昆虫学
			昆虫機能利用学		分子昆虫学
			雑草学		雑草学
			分子細胞生物学		分子細胞生物学
			環境生理学		環境生理学
	応用生物化学	生物化学	生物化学		生物化学
			生物機能化学		生物機能化学
			生物有機化学		生物有機化学
			食品化学		食品化学
			食品生化学		食品生化学
			食品免疫学		食品免疫学
			天然物有機化学		天然物有機化学
			応用微生物学		応用微生物学
			微生物工学		微生物工学
			生物高分子材料学		生物高分子材料学
			高分子材料化学		高分子材料化学
			植物制御化学		植物制御化学
			植物生理化学		植物生理化学
			分子遺伝学		分子遺伝学
	生物分子情報学	生物分子情報学			
	資源循環・土地利 用型畜産学(分野)	飼料学	飼料学		飼料学
			草地生態学		草地生態学
			飼料作物学		飼料作物学

専攻名	修士講座等	教育研究分野	専門科目	専門選択科目の受験方法	
農業環境工学専攻	農業環境システム工学	土壌・生物環境物理学	土壌・生物環境物理学		
		生物資源循環工学	生物資源循環工学		
		農地・土壌工学	農地・土壌工学		
		農作業環境工学	農作業環境工学		
		水文環境学	水文環境学		
		生物環境調節学	生物環境調節学		
		農村計画学	農村計画学		
		食品流通工学	食品流通工学		
		地域エネルギー工学	地域エネルギー工学		
		国際農業環境学	国際農業環境学		
		水質環境工学	水質環境工学		
		圃場機械学	圃場機械学		
		農村生態工学	農村生態工学		
		農業経済学専攻	農業経営学		農業経営学
農業史	農業史				
農業政策学	農政学				
食料経済学	農業経済学				
環境経済学	ミクロ・マクロ経済学				
地域社会学	地域社会学				
森林科学専攻	森林生産保全学	I 森林生態学・育林学	森林生態学	出願する教育研究分野が含まれる教育研究分野系(I～IV)以外の系の中の専門科目を選択してください。	
			育林学		
			森林遺伝育種学		
		II 森林計画学	森林計画学		森林計画学
			森林計測学		森林計測学
			森林政策学		森林政策学
		III 森林工学	森林工学		森林機械学
			森林土木学		森林土木学
			砂防工学		砂防工学
		IV 森林資源利用学	森林資源利用学		木材組織学
			森林化学		森林化学
			木材材料学		木材材料学

- ・受験しようとする教育研究分野の専門科目が2つ以上ある場合は、その中から1科目に限定して受験してください。

5. 試験の期日及び場所

(1) 試験日時等

区分	月日	時間	受験科目等
一般選抜	3月8日(水)	9:30~10:30	※日本語(一般)
		10:50~11:50	※日本語(専門)
		13:00~16:00	専門科目(農業環境工学専攻を除く)
		13:00~14:30	専門科目(農業環境工学専攻)
		16:30~	面接(農業環境工学専攻を除く)
		15:00~	面接(農業環境工学専攻)
社会人特別選抜	3月8日(水)	9:30~11:00	小論文
		13:30~15:00	面接(専攻別)

※ 日本語は、事前に日本語受験を承諾された者のみ受験することができます。

- ・ 試験開始後30分までに入室した者については、受験を許可しますが、試験時間の延長は認めません。

(2) 試験場等

集合場所：宇都宮大学峰キャンパス（宇都宮市峰町350）

峰町1号館A棟（農学部）玄関ホール

集合時刻：平成29年3月8日（水）

〔一般選抜〕

日本語を受験する者 9時集合（8時30分受付開始）

専門科目から受験する者 12時30分集合（12時受付開始）

〔社会人特別選抜〕 9時集合（8時30分受付開始）

6. 合格者発表

(1) 発表日時

平成29年3月14日（火） 13時

(2) 掲示及び通知

合格者の受験番号を本学農学部掲示板（峰キャンパス峰町1号館A棟玄関ホール）に掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を郵送します。

(3) ホームページでの掲載

ホームページ「<http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/>」においても合格者の受験番号を掲載する予定です。（システム障害等がない場合、農学部掲示板に掲示してから30分以降に掲載する予定です。）これは情報提供サービスの一環で行うものですので、必ず「合格通知書」又は学内の掲示により確認してください。

（注）電話等による可否の問い合わせには、一切応じません。

7. 入学手続

(1) 入学手続日 平成29年3月21日（火）～22日（水）

詳細については、合格者に対し改めて連絡します。

(2) 提出書類

提出書類は、「受験票」及び本学の指定する書類とします。「受験票」は入学手続き時に必要となるので、紛失しないよう大切に保管してください。

8. 入学料及び授業料等

(1) 入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料 535,800円(年額)

- ・入学料及び授業料は予定額ですので、改定されることがあります。
- ・在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。
- ・授業料は、半期分(267,900円)をそれぞれ指定期日までに納付してください。

(2) 学生教育研究災害傷害保険及び賠償責任保険料(2年間分)

2,430円 [平成28年4月現在]

9. 教育方法の特例措置

「社会人特別選抜」で出願しようとする者のうち、教育上特別の必要があると認められる場合には、入学後の履修について、以下の特例を認めることがあります。

(1) カリキュラムについて

原則として、一般学生と同様に扱います。ただし、開講時間については、通常の間時間帯以外の時間や特定の時期に教育を希望する場合、出願書類等の中の「研究計画書」を作成する際に指導予定教員と受験者がよく協議しておくこととします。合格後速やかに指導教員と相談し、両者の合意によって特例を決めることができます。

(2) 研究場所について

研究の場所については、指導教員と相談の上、原則として、1年間は職場(勤務先)を離れて農学研究科の通常の間時間帯において授業を受け研究することとします。

ただし、残りの1年間は、本学以外に各自の勤務先などにおいて研究を行うことができます。

【長期履修学生制度】

この制度は、職業を有していること等による修学の困難さに対して、標準修業年限(2年)を超えて一定期間(最長4年)にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することができるものです。教育課程表や履修すべき総単位数は2年で修了するものと同じですから、単年度の時間的負担は相当軽減されることとなります。

長期履修学生として認められますと、通常2年の大学院修了年限のところを、例えば3年間で修了することができます。この間の授業料は、2年度分を3年度に分割して納入することとなります。すなわち2年間(4学期)の授業料を3年間(6学期)に分割して納めていただくために、年当たりの負担額は少なくなります。(ただし、授業料が改定された場合は、改定後の金額を基に再計算されます。)

長期履修学生として認められるためには、宇都宮大学長に必要書類を添付の上、申請して許可を得ることが必要となります。

なお、状況の変化により長期履修期間で修了できない場合には、その長期履修期間を含めて6年

まで在学できます。このうち長期履修期間を超えた期間については留年扱いとなっており、通常の授業料が適用されることとなります。また、在学中に新規申請したり、許可された長期履修期間を1回に限り延長又は短縮することもできます。

これらの申請期間は、以下のとおりです。

(1) **新規申請**

ア. 入学時に申請する場合・・・入学手続期間中

イ. 在学中に申請する場合・・・長期履修開始前年度の2月末日

(2) **期間の延長及び短縮**

延長を希望する場合・・・許可されている長期履修期間の終了する月の前月末日まで

短縮を希望する場合・・・修了を予定する月の前月末日まで

本制度に関する問い合わせは、修学支援課(電話 028-649-5084)までお願いします。なお、詳細については、合格者に対し改めて通知します。

【疾病・負傷や身体障害等による受験上及び修学上の特別措置に関する事前相談】

疾病・負傷や身体障害等のために、受験上及び修学上で特別な措置を必要とする場合は、下記期限までのできるだけ早い時期に入試課との相談を開始してください。

また、事前相談の期限後であっても、受験上及び修学上で特別な措置が必要となった場合は、その時点で速やかに申し出てください。

(1) **事前相談の期限** 平成29年2月7日(火)まで

(2) **事前相談申請書の提出**

事前相談申請書(様式任意)に次の内容を記載し、医師の診断書を添えて入試課へ提出してください。

- ① 氏名、住所、連絡先電話番号、連絡可能な時間帯
- ② 志願予定の選抜の種類、専攻・講座名
- ③ 疾病・負傷や身体障害等の内容・程度
- ④ 受験上特別の措置を希望する事項
- ⑤ 修学上特別の措置を希望する事項
- ⑥ 出身学校等で受けていた特別の措置
- ⑦ 日常生活の状況

【注意事項】

- (1) 出願書類などを郵送で請求する時は、大学あての封筒に「大学院農学研究科学生募集要項請求」と朱書きし、郵便番号・住所・氏名を明記した返信用封筒(角形2号。250円分の切手を貼付したもの。速達の場合は530円分の切手を貼付。)を同封して、入試課へ申し込んでください。
- (2) 学生募集に関する照会は、入試課(電話028-649-5405)において受け付けます。なお、郵便で照会する場合は、長形3号封筒に郵便番号、住所、氏名を明記し、82円切手を貼ったものを同封してください。
- (3) 各教育研究分野に関する照会は、各専攻において受け付けます。

【平成 28 年度農学研究科入学状況】

推薦特別選抜

専攻名	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
農業環境工学専攻	約 4	2	2	2	2
森林科学専攻	約 5	0	0	0	0

一般選抜

専攻名	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
生物生産科学専攻	約 41	51	51	45	42
農業環境工学専攻	約 8	6	6	6	5
農業経済学専攻	約 8	2	2	2	2
森林科学専攻	約 5	6	6	6	5

社会人特別選抜

専攻名	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
生物生産科学専攻	若干名	1	1	1	0
農業環境工学専攻	若干名	0	0	0	0
農業経済学専攻	若干名	1	1	1	1
森林科学専攻	若干名	0	0	0	0

総括

専攻名	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
生物生産科学専攻	41	52	52	46	42
農業環境工学専攻	12	8	8	8	7
農業経済学専攻	8	3	3	3	3
森林科学専攻	10	6	6	6	5
合計	71	69	69	63	57

【【附記】 東京農工大学大学院連合農学研究科(博士課程)】

東京農工大学大学院連合農学研究科は、博士課程として、本学、茨城大学及び東京農工大学の協力のもとに設置され、一大学のみでは期待しがたい分野を相互に補いつつ、幅の広い、かつ、水準の高い教育研究を行うことを目的としています。

専攻部門は、生物生産科学、応用生命科学、環境資源共生科学、農業環境工学及び農林共生社会科学に分かれており、本学大学院農学研究科(修士課程)を修了した者は進学を志願することができます。

【 教員の教育研究分野】

専攻名称	修士講座等	教員氏名	教育研究分野	専門分野	内容
生物生産学	植	和田 義 春	作物栽培学	作物学	作物の生理・生態に関する研究
		柏 木 孝 幸	作物栽培学	作物学	作物の農業形質を制御する遺伝的要因と環境要因に関する研究
		山 根 健 治	園芸学	園芸学	園芸作物の生理と利用に関する研究
		◎黒 倉 健	園芸学	園芸学	園芸作物の生理・生態に関する分子生理学的解析
		福 井 糧	比較農学	植物微生物学	持続的農業, 土壌微生物生態, 土壌病害及び生物防除
		平 井 英 明	土壌学	土壌学	土壌の生成分類, 作物生産・環境と土壌肥料, 土壌教育
		関 本 均	植物栄養・肥料学	植物栄養学	植物の栄養生理, 肥料の利用法
		高 橋 美智子	植物分子生理学	植物栄養学	生殖成長期における金属元素の役割の解明
		相 田 吉 昭	地質学	地質学・古生物学	中生代および新生代放散虫の層位学および進化的研究, 付加体の地質学および珪質岩の堆積学的研究, 南半球高緯度帯の微生物学
		居 城 幸 夫	園芸生産技術学	園芸学・花卉園芸学	園芸植物の生理・生態と繁殖に関する研究, 植物の組織培養
		高 橋 行 継	作物生産技術学	水稻栽培学・農業気象学	水稻栽培の省力・低コスト栽培, 気象と作物生育・収量解析, 農業気象災害
西 尾 孝 佳	植生マネジメント学	植物生態学・植生学	劣化植生の修復, 植物の集合原理および分布拡大機構		
動物生産学	動	※杉 田 昭 栄	動物機能形態学	動物機能形態学	家畜の生理学及び形態学—特に中枢神経系と視覚機構について—
		青 山 真 人	動物機能形態学	動物機能形態学	家畜のストレスに関する研究
		◎栗 原 望	動物機能形態学	動物機能形態学	哺乳類の機能形態学 —鯨類について—
		福 井 えみ子	動物育種繁殖学	動物育種学	家畜の経済形質に関わるDNAの多型解析
		松 本 浩 道	動物育種繁殖学	生殖生物学, 発生工学	哺乳動物の初期胚発生, 子宮の機能および胚と子宮の相互作用の解析
		■吉 澤 史 昭	動物栄養制御学	動物栄養制御学	栄養素による体タンパク質合成制御の機構解析
		◎佐 藤 祐 介	動物栄養制御学	動物栄養制御学	筋肉のサイズとタイプの調節に関する研究
		長 尾 慶 和	家畜繁殖生理学	家畜繁殖学	ウシ胚の初期発生とその発生工学的応用に関する研究
		◎福 森 理 加	家畜繁殖生理学	家畜栄養代謝内分泌学	反芻家畜の栄養代謝を調節するホルモンの分泌・作用に関する研究
◎小 寺 祐 二	動物機能形態学	野生動物管理学	野生動物の個体群管理及び生態系保全に関する研究		
専攻	応用生物	房 相 佑	植物育種学	植物育種学	アブラナ科植物における遠縁交雑と農業的有用形質の遺伝育種学的研究
		夏 秋 知 英	植物病理学	植物病理学	植物のウイルスと二本鎖RNAの遺伝子解析
		西 川 尚 志	植物病理学	植物病理学	植物のウイルス抵抗性の分子機構
		園 田 昌 司	応用昆虫学	応用昆虫学	総合的害虫管理に関する研究
		◎香 川 清 彦	応用昆虫学	応用昆虫学	アブラムシ類の分類と生活環に関する研究
		※川 崎 秀 樹	昆虫機能利用学	昆虫分子生物学	昆虫変態の分子生物学的研究
		岩 永 将 司	昆虫機能利用学	昆虫ウイルス学	昆虫ウイルスの利用, 分子生物学的解析
		小笠原 勝	雑草学	雑草学	雑草制御に関する研究
		児 玉 豊	分子細胞生物学	分子細胞生物学	環境応答性の細胞小器官の運動を制御する分子機構
宮 川 一 志	環境生理学	環境生理学	節足動物の環境応答の分子機構とその進化に関する研究		

専攻名称	修士講座等	教員氏名	教育研究分野	専門分野	内容	
生物生産学専攻	応用生物生産学	蕪山 由己人	生物化学	生物化学	動物細胞内の情報伝達機構に関する研究	
		水重 貴文	生物機能化学	生物機能化学	機能性食品成分の生理作用に関する研究	
		飯郷 雅之	生物有機化学	生物有機化学	天然生理活性物質の生合成と作用機序, 光ゲノム生命化学	
		二瓶 賢一	天然物有機化学	天然物有機化学	天然有機化合物の構造決定、化学合成と機能性評価	
		橋本 啓	食品化学	食品化学	調理・加工が食品の機能性に及ぼす影響に関する研究	
		東 徳洋	食品生化学	食品生化学	乳中の機能蛋白質・ペプチドに関する研究	
		◎山田 潔	食品免疫学	食品免疫学	免疫系の機能を制御する食品成分に関する研究	
		☆上田 俊策	応用微生物学	応用微生物学	微生物による環境低負荷物質の生産と生分解ならびにそれに関連する遺伝子工学	
		前田 勇	微生物工学	微生物工学	微生物の諸機能の解析とそれらの応用研究	
		羽生 直人	生物高分子材料学	生物高分子材料学	生物高分子の機能開発とその利用	
		金野 尚武	高分子材料化学	高分子材料化学	バイオマスの高度利用に関する研究	
		☆米山 弘一	植物制御化学	植物制御化学	植物生理機能の化学的調節	
		野村 崇人	植物生理化学	植物生理化学	植物ホルモンによる植物の生長制御	
		◎謝 肖男	植物機能化学	植物機能化学	植物が生産する生理活性物質に関する研究	
		松田 勝	分子遺伝学	分子遺伝学	魚類における性差構築の分子機構解明	
		鈴木 智大	生物分子情報学	生物分子情報学	天然物の単離・構造決定、次世代シーケンサーを用いたゲノムおよびトランスクリプトーム解析	
		資源循環・土地利用型畜産学分野	森 昭憲	草地生態学	草地生態学	草地生態系の構造と機能の解明
			野中和 久	飼料学	飼料学	草地管理および飼料資源の調製技術
			菅野 勉	飼料作物学	飼料作物学	飼料作物の栽培管理に関する研究
農業環境工学専攻	農業環境工学	飯山 一平	土壌・生物環境物理学	土壌・生物環境物理学	土壌中および土壌を介した物質移動現象の解明	
		池口 厚男	生物資源循環工学	生物資源循環工学	バイオマス、再生可能エネルギーの利用技術、農業施設の環境制御	
		大澤 和敏	農地・土壌工学	農地・土壌工学	農耕地を含む流域圏における水・物質動態の評価	
		柏 嵩勝	農作業環境工学	農作業環境工学	農作業の省力化・軽労化・機械化、農産物の品質分析・評価	
		☆後藤 章	水文環境学	水文環境学	水文解析手法に基づく流域水環境・水資源利用の評価	
		齋藤 高弘	生物環境調節学	生物環境調節学	施設園芸（植物工場含む）での効率的な植物生産技術、食品の機能性の評価技術の開発	
		田村 孝浩	農村計画学	農村計画学	グリーン・ツーリズムの推進、維持管理労働の省力化に向けた基盤形成技術の開発	
		◎田村 匡嗣	食品流通工学	食品流通工学	食品の加工技術および品質評価に関する研究	
		菱沼 竜男	地域エネルギー工学	地域エネルギー工学	低環境負荷型の農畜産物生産システム検討に関する研究	
		福村 一成	国際農業環境学	国際農業環境学	地盤環境の修復技術、国際農業協力と環境	
		松井 宏之	水質環境工学	水質環境工学	水域における汚濁物質の挙動の解析	
		松井 正実	圃場機械学	圃場機械学	農業生産性向上と作業労働・環境負荷の低減を目指した圃場機械の最適化	
守山 拓弥	農村生態工学	農村生態工学	農村地域の生態系の解明と保全及びその利活用			

専攻名称	修士講座等	教員氏名	教育研究分野	専門分野	内容
農業経済学専攻	農業経営学	斎藤 潔	農業経営学	農業経営学	欧米諸国の農業経営，農業教育システム
		原田 淳	農業経営学	農業経営学	農業経営の組織に関する研究
		西山 未真	農業経営学	農業経営学	農村と都市の関係性分析，ローカルフードシステム論
		杉田 直樹	農業経営学	農業経営学	農産物マーケティング
		加藤 弘二	環境経済学	環境経済学	農業の多面的機能の評価
		児玉 剛史	食料経済学	食料経済学	食料経済の実証分析
		大栗 行昭	農業史	農業史	日本地主制史，農地政策史
		神代 英昭	農業政策学	農業市場論	農産物の生産・加工・流通に関する研究
		秋山 満	農業政策学	農業政策学	農業政策，農業構造問題
		安藤 益夫	地域社会学	地域社会学	農村活性化に関する研究
	◎閻 美芳	地域社会学	地域社会学	地域生活環境に関する研究	
森林科学専攻	森林生産学	大久保 達弘	森林生態学・育林学	森林生態学・育林学	森林群落の更新機構と劣化した森林生態系の修復
		逢沢 峰昭	森林生態学・育林学	森林植物学	森林植物の遺伝・形態・生態的特性の地理的変異と繁殖様式
		執印 康裕	砂防工学	砂防工学	砂防工学・森林水文学
		松英 恵吾	森林計画学	森林計測学	樹木形状による成長モデル，リモートセンシング，GISによる林分管理
		山本 美穂	森林政策学	森林政策学	土地利用転換論，山村定住問題，地域森林政策
		◎林 宇一	森林政策学	林業経済学	林業労働に関する研究
		田坂 聡明	森林工学	森林工学	民有林の伐出作業システムに関する研究
		有賀 一広	森林工学	森林工学	森林土木学・森林機械学・森林作業学
		横田 信三	森林資源利用学	森林資源利用学	樹木と担子菌類との化学的・生化学的相互作用に関する研究
		石栗 太	木材材料学	木材材料学	造林木の成長と材質，熱帯樹木の成長と材質，広葉樹あて材の組織構造と化学成分
		飯塚 和也	森林生態学・育林学	森林遺伝育種学	林木の育種，森林・樹木と放射性セシウムとのかかわり
		◎大島 潤一	森林生態学・育林学	森林資源管理学	材質育種，材質劣化，森林資源活用

☆は平成29年3月末定年退職者，※は平成30年3月末定年退職者なので，当該教育研究分野志望者は事前に入試課へ照会してください。

◎の教員は，主任指導教員としての論文指導は行いません。

■の教員は，平成29年度第3次学生募集は行いません。

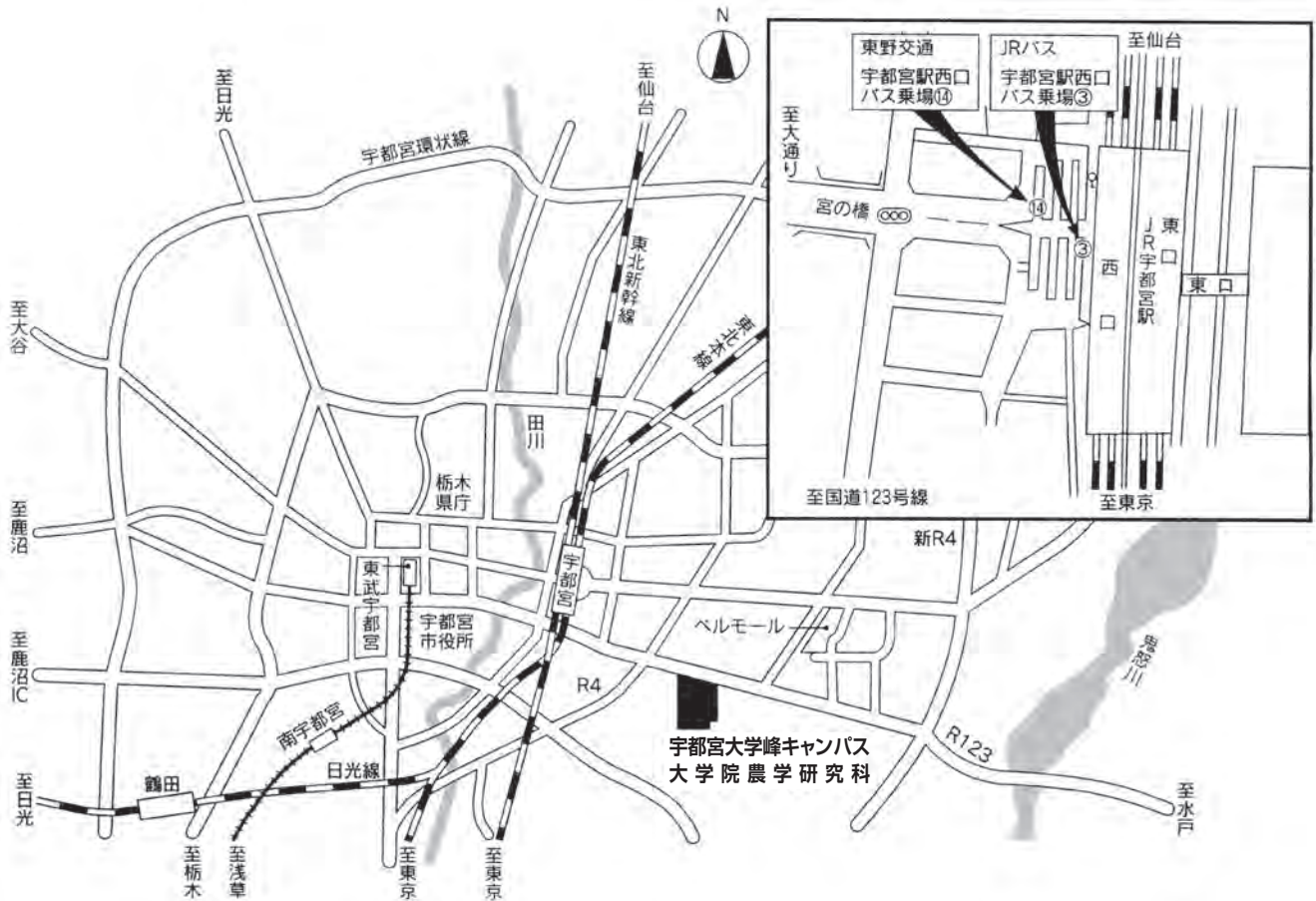
【試験場案内図】

東京都内からの所要時間

- J R 東京駅から
東北新幹線利用 約50分
上野東京ライン・宇都宮線利用 約1時間50分
- J R 新宿駅から
湘南新宿ライン・東北新幹線利用 約1時間 (J R 大宮駅乗換)
湘南新宿ライン・宇都宮線利用 約1時間50分
- 羽田空港から
東京空港交通・関東自動車・東野交通 バス利用 約2時間30分

仙台からの所要時間

- J R 仙台駅から
東北新幹線利用 約1時間30分



◎宇都宮大学峰キャンパス大学院農学研究科試験場 (J R 宇都宮駅から約2.2km)

- J R バス (芳賀町役場, 芳賀バスターミナル, 茂木行など) … J R 宇都宮駅西口バス乗場③から乗車
約15分「宇大前」下車

- 東野交通 (真岡, 益子, 東峰町循環, 平松本町循環, 海星女子学院, 清原球場, 清陵高校, ベルモール前行など) ……
J R 宇都宮駅西口バス乗場⑭から乗車
約15分「宇大前」下車

東武宇都宮駅バス乗場から乗車約25分「宇大前」下車

[参考] バス時刻表検索 アットとちぎ <http://www.atochigi.ne.jp/>
J R バス 関東(株)宇都宮支店 ☎028 (687) 0671
東野交通(株)本社営業所 ☎028 (661) 2251